

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2022 年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- [1] 別紙の練習会場の使用日程、注意事項に基づき練習することができる。
- [2] 特に投てき競技の練習については、競技役員の指示に従って十分注意して行うこと。
- [3] 補助競技場の「レーン」の使用区分は、原則として次の通りとする。
 - (ア) 周回 1～2 レーンは、中・長距離及び競歩。
 - (イ) 周回 3～4 レーンは、短距離。
第 1 曲走路及びバックストレートの 5～6 レーンは、400mH 優先。
 - (ウ) ホームストレートの 5～6 レーンは、短距離。7～8 レーンは、ハードル。

3. 招集について

- [1] 招集所は、第 1 ゲート付近に設ける。
- [2] 招集開始時刻、完了時刻は競技開始時刻を基準として、下記の通りとする。

区分	種目	ラウンド	招集開始	招集完了
トラック競技	予選が 5 組以上ある種目	予選 1～3 組	30 分前	15 分前
		予選 4 組～	競技開始 15 分前	競技開始時刻
	準決勝・決勝	30 分前	15 分前	
	予選が 1～2 組の種目	予選・決勝	30 分前	15 分前
跳躍競技	三段跳、走幅跳、走高跳	決勝	55 分前	40 分前
	棒高跳	決勝	100 分前	80 分前
投てき競技	砲丸投	決勝	45 分前	30 分前
	円盤投、やり投	決勝	55 分前	40 分前
	ハンマー投	決勝	65 分前	50 分前
混成競技	十種競技	両日の第 1 種目	30 分前	15 分前
	七種競技	第 1 日目、第 1 種目	30 分前	15 分前
		第 2 日目、第 1 種目	45 分前	30 分前

- [3] 混成競技の第 2 種目以降については混成競技者控え場所に待機し、トラック競技は競技開始 15 分前までに、フィールド競技は競技開始 30 分前までに、混成競技係の誘導で競技場所に集合する。混成競技の控え場所は、男女の更衣室前に設置する。

[4] 招集の方法

- ① 競技者は招集所で競技役員の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・スパイク・靴底の厚さ・商標の点検を受ける（商標については、競技会における広告および展示物に関する規定参照）。なお代理人による点呼は、認めない。
- ② 複数種目同時に出場する競技者は、第 1 種目の招集完了時刻 30 分前までに所定の「多種目同時出場届」（TIC に用意）に記入し、TIC に提出し、競技役員の指示に従う。
- ③ 棄権する場合は招集完了の 30 分前までに「欠場届」（TIC に用意）を TIC に提出する。また、招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなす。

4. アスリートビブスについて

- [1] アスリートビブスは交付された大きさのまま、胸・背に確実に付ける。但し、跳躍競技の競技者は胸または背中どちらか一方だけでもよい（規則記載通り）。
- [2] トラック種目では、腰ナンバーカードを左右の腰後方に付ける（配布は招集所で行う）。
- [3] 1500m以上の競走競技、競歩競技においては、招集所で配布するアスリートビブスを、胸に付ける。

5. 競技場への入退場について

- [1] 競技場への入退場は、すべて競技役員の誘導による。
- [2] トラック競技出場者はフィニッシュライン到着後、選手退場口より退場する。
- [3] トラック競技出場者（混成競技も含む）の衣類は、競技役員が退場口付近のテントに運搬する（但し、400mRの最終走者以外の衣類とスタートがゴール付近になる種目は除く）。
- [4] 第1位から第3位までの入賞者は、競技役員の誘導によって入賞者控所に入る。第4位から第8位までの入賞者は、TICで賞状を受け取る。

6. 競技の抽選並びに番組編成について（レーン順・試技順）

- [1] トラック競技のレーン順・番号順と、フィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者ナンバーの左に数字で示す。
- [2] トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順は、番組編成・記録速報所に印刷物で掲示する。
- [3] トラック競技で次のラウンド進出者を決める際に、同記録があったときは、0.001秒単位で着差判定をして進出者を決める。それでも決定できないときは同成績とし、抽選により進出者を決める（WA競技規則TR21）。

7. 競技について

- [1] トラック競技について
競技運営上、以下の種目では、制限時間を越えた場合、次の周回に入れない。
◇10000m 男子 35分 女子 43分 ◇5000mW 男子 27分 女子 32分
- [2] フィールド競技について
 - ① フィールド競技の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従って行うこと。
フィールド競技の練習は、原則2回とする。棒高跳の練習はゴムバーを使用する。
 - ② 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを置くことができる。使用するマーカーは現地において競技役員が渡す。
 - ③ 棒高跳の競技者は、あらかじめ支柱の位置を所定の「アップライト申告書」（TICに用意）に記入し、招集時に競技者係に提出すること。
 - ④ 男女の走幅跳と三段跳は、A・Bの2ピットで行う。トップ8もピットを変えずに行う。
 - ⑤ 三段跳の踏切板の位置は、砂場から男子13m・女子10mとする。
 - ⑥ 走高跳・棒高跳決勝のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまで次の通りとする（但し、気象状況等によっては審判長によりバーの上げ方を変更する場合もある）。また、第1位が同成績の場合、順位決定試技のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.80 2.00	1.90	1.95	2.00	2.03	2.06	2.09	競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまで、3 cmずつ上げる。
	女子	1.50 1.60	1.55	1.60	1.65	1.68	1.71	1.74	
棒高跳	男子	4.30 4.80	4.50	4.70	4.80	4.90	5.00	5.05	競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまで、5 cmずつ上げる。
	女子	2.80 3.30	3.00	3.20	3.40	3.50	3.60	3.65	

⑦ 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.45 1.80	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	以後 3 cmずつ上げる。
	女子	1.25 1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
棒高跳	男子	2.60 3.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	3.55	以後 5 cmずつ上げる。

[3] リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、オーダー用紙（TICに用意）を各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ② リレー競技における使用マーカーは主催者が用意し、招集所にて配布する。但し、マーカーの除去については使用したチームが行うこと。

[4] 抗議について

- ① 抗議は、WA 競技規則 TR8 に定められた時間（大型スクリーン表示時刻を基準とする）内に競技者自身又は代理人が、次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にTICを通して、担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通して裁定を伝える。
- ② 審判長の裁定に不服の場合は、「上訴申立書」（TICに用意）に記入の上、預託金10,000円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内にTICに申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は、担当総務員を通して伝える。なお、預託金は抗議が却下された場合は返却しない。

[5] 助力について

- ① 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出ること。
- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技場内に持ち込んではいならない。
- ③ 助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。但し、映像機器類の手渡しや吊り下げ行為は認めない。

[6] 警告について

不当な行為をした競技者には、当該審判長から警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことで競技者に知らされる。

[7] その他

- ① 発雷等の荒天により、主催者が大会の継続を困難と判断した場合は競技を中断し、状況に応じて大会を中止とする場合もある。
- ② その他、参加者及び関係者に連絡する事項は山梨陸上競技協会 Web サイト等に掲載する。

8. 競技器具について

- [1] 競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものとする。但し、競技場に備え付けのない投てき用具は持ち込みを認める（日本陸連検定品に限る）。その際、希望者は競技開始時刻の2時間前から70分前までに、TICに投てき用具を持参し、併せて「投てき用具検査申請書」（TICに用意）を提出すること。TICで投てき用具を受け付けた際には、「投てき用具預かり証」を確認した上で、投てき用具を当該競技者に返却する。
- [2] 棒高跳のポールの検査は競技開始前に競技場所にて行う。

9. 競技用靴について

- [1] 競技場が全天候舗装であるため、スパイクのピンの数は11本以内、長さは9mm以内とする。但し、走高跳・やり投の場合は12mm以内とする。また、ピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- [2] トラック競技に出場する競技者は、招集所にて靴底の厚さの確認を受ける。靴底の厚さは以下の通りとする（WA競技規則TR5に則る）。
 - 800m未満のトラック種目は20mm以内
 - 800m以上のトラック種目は25mm以内 *5000mWは40mm以内
 フィールド競技に出場する競技者は、靴底の厚さの確認はしない（日本陸連の指針に則った対応とし、WAランキングには反映されない）。

10. 表彰について

- [1] 各種目の1位～3位までには賞状とメダルを、4位～8位の入賞者には、賞状を授与する。
- [2] 各種目1位～3位の入賞者（リレーを含む）は競技終了後、直ちに表彰を行うので競技役員の誘導のもと、正面スタンド下、表彰者控所に移動し待機すること。
- [3] 4位～8位の入賞者は、正式発表後30分を目安にTICに賞状を取りに来ること。

11. TICの業務及び提出書類について

	配布書類及び業務	提出及び受付場所	提出及び受付時間
1	記録証発行	T I C	随時
2	遺失物保管	T I C	随時
3	抗議申立（口頭）	T I C	正式記録発表後 15分以内(予選/準決) 30分以内(決勝)
4	上訴申立書（文書）	大会本部	審判長の裁定後 15分以内(予選/準決) 30分以内(決勝)
5	*体調管理チェックシート	T I C	*競技場来場時（状況で流動的）
6	*観戦履歴用紙	T I C	*競技場退場時（状況で流動的）
7	入場許可証・撮影許可書	T I C	競技場来場時
8	多種目同時出場届 欠場届 アップライト申告書 リレーオーダー用紙 投てき用具検査申請書	T I C	競技注意事項記載